

2019年2月5日、パリ

コファス・カントリーリスクコンファレンス 2019

2019年において企業に2つの落とし穴：景気の低迷と政治的リスク

コファスは、2019年の世界経済の主な傾向についての見解を、カントリーリスク及びセクター別リスクに関する年次コンファレンスにおいて発表。

欧州の企業にとっては信用リスクが拡大

増大する政治的リスク、コモディティ価格の乱高下、及び供給面の制約などの落とし穴が増えたことにより、2018年後半には世界の経済成長が減速し2019年の見通しに影を落としている(2017年及び2018年の3.2%に続き、2019年には3%と予想される)。今回の西ヨーロッパは、前回の景気動向の反転とは対照的に、米国よりも先に減速した。コファスでは、企業の破産件数はヨーロッパの(分析されている26カ国のうち)20カ国で増加すると予想している。増分はユーロ圏で+1.2%、中央ヨーロッパで+6.5%である。この増大した企業の信用リスクは、循環的な景気減速及び根強い政治的不安定さに由来するものである。

特に**自動車セクター**が受ける影響は大きい。8年間の成長周期の後、現在は減速の兆しを見せている。中国市場が十分に成熟し保護貿易主義が台頭する中で、投資の必要性、競争の激化、消費者のライフスタイルの変化、そして公害防止環境基準への適応などの課題への対処が必要になってくる。これらの展開により、コファスは**中央ヨーロッパ・東ヨーロッパに加え、ほぼすべての西ヨーロッパ諸国においても自動車セクターを中リスクへ、さらにラテンアメリカ及び北米においては高リスクへとそれぞれ格下げした。**

2019年も引き続き政治的リスクはヨーロッパの課題として残る。コファスの社会的リスク指標は、2010年以降で最高水準となっている。これらのリスクは選挙期間に表面化することが多く、ギリシャで行われる選挙、さらにイタリア、スペイン、ドイツなどでも選挙の前倒しがあるかどうかを注視していく必要がある。社会に不満が広がり反EU派政党の人氣が高まっていることの重要性は増しており、2019年5月の選挙の結果によっては、欧州議会が非常に細分化されたものになる可能性もある。

「今年、企業は2011～2012年の公的債務危機以後初めて、2つの落とし穴に同時に対処しなくてはなりません。すなわち、循環的な景気減速と政治的なリスクです」と、コファスのチーフエコノミストであるJulien Marcillyは指摘する。

新興経済国の不安定な状況は続く

この世界的な傾向は、新興経済国の間で対照的な効果を及ぼしている。経済成長の減速がユーロ圏(2019年には+1.6%と予測される)及び米国(同じく+2.3%)で予想されることの影響は、主として貿易の流れを通じて新興経済国市場に波及する。このように、世界の貿易の成長は今年も減速することが予想される(コファスでは、今年は+2.3%に留まると予想している)。しかし米国での成長の失速にはプラスの効果もある。すなわち、米連邦準備銀行による金利引き上げの可能性が低くなり、新興国市場からの資本流出のリスクは限られたものになる。

今年の政治的リスクの多くは、(ナイジェリア、南アフリカ、アルジェリアなどで)相次いで選挙が予定されている中で国民が不満を表明する手段が増えているアフリカ(2010年と比較してインターネットアク



P R E S S R E L E A S E

セス率は3倍になっている)を含む、新興国で発生することが予想される。

しかし、政治及び安全保障を巡る状況が不安定であるにもかかわらず、コファスは外貨準備高が2014年以来の高水準に達しており経済成長も3%を超えているモザンビーク(現在D)、及び事業環境がコンスタントに改善しており改革の勢いが保たれているルワンダ(A4)については、明るい見通しを立てている。

石油価格の変動は大きいものの適切な水準を維持しているため、コファスは以下の石油依存経済の国別評価を引き上げる:アンゴラ(現在C)、アゼルバイジャン(B)、カナダ(A2)、アラブ首長国連邦(A3)、及びトリニダード・トバゴ(B)。

今年に入ってからこれまでに評価が引き下げられたのは、経済的困難が長く続いているレバノン(現在D)のみである。

コファスのカントリーリスク評価(161カ国が対象)は8段階の評価となっており、上から順にA1(超低リスク)、A2(低リスク)、A3(十分許容できるリスク)、A4(許容できるリスク)、B(やや高リスク)、C(高リスク)、D(超高リスク)、E(極めて高リスク)となっている。

コファスのセクター別評価(世界のGDPの87%近くを占める6地域、27カ国の13セクターが対象)では「低リスク」、「中程度のリスク」、「高リスク」、「超高リスク」の4段階でリスクをランク付けしている。

連絡先:

ジョナタン・ペレス - Tel. 03 5402 6108 - jonathan.perez@coface.com

Coface: for trade -共にビジネスを構築

70年の経験と最も幅広い地域のネットワークを持つことにより、コファスは取引信用保険、リスク管理およびグローバルエコノミーという分野において、世界有数のエキスパートとなりました。業界で最も機動的で、グローバルな取引信用保険のパートナーになるという目標のもと、コファスの専門家たちは世界経済の動きを常に分析しながら、50,000社の顧客事業の成功と成長、活性化のサポートを行っています。コファスグループのサービスとソリューションは、国内及び輸出市場で販売能力を向上するための与信判断のサポートと売掛債権の保全を含みます。2017年にはコファスの従業員は100カ国で4100名となり連結売上高は14億ユーロとなりました

www.coface.jp

コファスSAはユーロネクスト証券市場のA部に上場しています
ISINコード: FR0010667147 / ティッカーシンボル: COFA

